



沓掛小学校だより

未来を拓く

～元気・やさしさ・かがやく瞳～

5月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

NO. 617

共に学び 共に支え 共に創る 沓掛の教育

副校長 坂本 貴史

初夏を思わせる晴天が続き、校庭や中庭、屋上から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。中庭では、2年生が「副校長先生、見て見て」と嬉しそうに一輪車を乗りこなす姿を披露してくれています。そんな2年生も1年生の頃は思うように乗れず、壁や柱にしがみついて動けないものでした。誰も乗れなかった一輪車を、誰か一人が乗れるようになると、乗れる子が次々と出てくるようになります。中庭の一輪車は、誰かがリーダーとなって教えたり、乗れない子が聞いて回ったりしている様子はあまり見られません。それぞれが思い思いに一輪車にまたがり、乗れる子はすいすい乗り回し、乗れない子は柱にしがみついています。それでもどんどん上達しています。

何かができるようになるためには、「自分でできる」と、「他の助けがあればできる」との間に、「みんなと一緒にあればできる」とがあります。学校では、この「みんなと一緒にあればできる」となる場面が多くあり、集団で共に学ぶ大きな利点の一つでもあります。

今年度は、「杉並区教育ビジョン2012」の最終年です。「共に学び 共に支え 共に創る杉並の教育」の総仕上げであり、次の10年に向けた新しい「杉並教育ビジョン2022」が7月初旬頃に示される予定です。沓掛小学校も、地域支援本部やPTA、関係諸機関の皆様の支援を受け、多くの方々とは「かかわり」と「つながり」を大切にして教育活動をしてきました。まさに表題の「共に」を、学校内外を通して実践しています。

2年後の2023年には、沓掛小学校は創立70周年を迎えます。

沓掛小学校がこれまで取り組んできた地域との「かかわり」や「つながり」を大切に、創立70周年を一つの集大成として、これからの新しい時代に沓掛の子どもたちに「どのような力を育てていくのか」を、保護者や地域の皆様とも意見交換をしながら考え、共に創って参ります。

今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

5月の生活目標「安全に生活しましょう」

学校には、子供たちが安全に生活できるよう、様々なきまりがあります。中でも廊下、階段の歩行については、静かに右側を歩くことを繰り返し指導しています。

廊下の歩行は、交通安全にもつながります。学校生活に慣れてきた今こそ、登下校の安全にも気を付けさせたいと思います。御家庭では、子供たちが出かけるときには、「車に気を付けてね。」と一言添えて、送り出していただけたらと思います。また、沓掛小の周りには、車の通りが多い道や坂道など危険な箇所があります。お子さんと道路を歩く際には、道路の端を歩くこと、交差点では、右・左・右を確認して横断することを確認して下さるようお願いいたします。